

私保連 とくしま



発行：徳島県私立保育園連盟

発行人：会長 上野 由弘

〒770-0943

徳島市中昭和町1丁目2番地

徳島県立総合福祉センター内

tel. 088-654-4461 fax. 654-9250

印刷：教育出版センター

おひなさまのように
しあわせを願って

(十二面に続く。あざみ保育園)



もくじ

今春の保育をめぐる動きについて	P2
部会報告	P3
ブロックだより	P5
青年会議 活動報告	P6
男性保育士！じゅずつなぎ	P6
活躍！主任保育士さん	P7
子育て真っ最中！ママ職員	P9
いきいき保育士さん	P9
「いただきます」を支えて	P10
あわあ保育園めぐり	P11
心やさしい子どもたち	P12

元気で明るい子



今春の保育をめぐる動きについて



徳島県私立保育園連盟

会長 上野 由弘

当広報紙がお手元に届く頃には、桜が咲きほこり、または萌える新緑が眼に鮮やかな季節となっているかと思えます。光り溢れる園庭には新入児さんの声も響いていることでしょう。

そして、あの東日本大震災から、二度目の春を迎えました。遠く離れた四国の地でもテレビで繰り返された映像は、自然への畏怖を思い出させました。まして、我が身だけでなく、乳幼児の命を守る使命を持つ保育現場では、いかに衝撃を受けたことでしょう。

もちろん、そういう非常事態に直面した時だけではなく、日常通りに見える日々の保育の中でも、職員は刻々の変化に注意を払い乳幼児の命を預かります。ただ、震災という過酷状況の下でも、私たちの同僚らは幼い命を守りきり、またそれが社会から注目

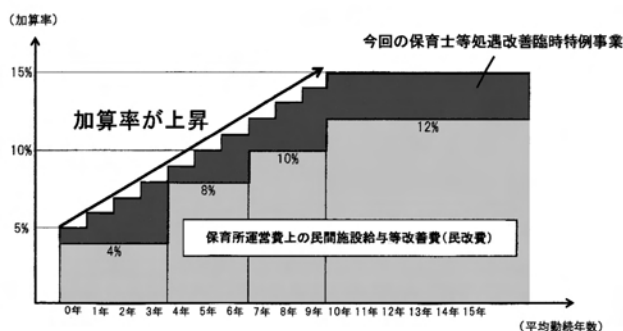
を浴び、大きな賞賛を得たことは記憶に新しいことです。

逆に言いますと、現場の、特に保育士の社会的な使命と責任がどれほど重いものか、ということであらためて浮き上がらせてくれました。

補正予算による保育士等処遇改善

さて、その保育士が全国的に不足しているということに前号でも紹介させていただきました。いくつかの考えられる原因の中で、一つには経済面で生活を成り立たせるだけの、あるいは、もっとやりがいを実感できるほどの収入を今は得られていないという課題をあげました。その面に対しての対策が急務であることが、国の予算編成上でも一定の理解が得られてきたようです。

その流れの中で、新聞等でも報道されましたように、保



育士確保のために二十四年度の補正予算によって四百八十三億円が組まれました。その中の三百四十億円が、「保育士等処遇改善臨時特例事業」に充てられ、認可私立保育園(民改費支給対象外園を除く)職員である皆さんへの人件費加算として二十五年度中に使われることとなります。簡単に仕組みを説明しますと、職員の平均勤続年数を元にした従来の民改費加算率の四段階の区切りと、今回の十一段階の差額(図の濃い部分)が一〜四%に分けられます。これに基づいた単価が地域・

定員・園児年齢別に設定されており、この単価に入所児童数を掛けた額が従来の運営費とは別に園に支払われます。このように状況に従って機械的な計算で施設に支給されるから、各園が受け取る総額は異なります。

そして、この総額を各職員へどう支給するか(賃金か一時金か)や、どう配分にするかについては、各施設に任せられます。また、例えば加配職員等の多少等によっても一人あたりの受取額は変わることとなります。

従って誤解を生みますので、ここで一人あたりへの支給見込が約何円と書くことは避けませんが、しかし使途制限がかかっていることから、間違いなく全額が、当紙を読まれている職員(法人の役員は除く)の皆さんの収入の改善に使われることは確かです。

現状から考え、多少増えても焼け石に水という意見もあるかもしれませんが、しかしそれでも改善の一步として評価したいと考えています。

そして当事業は安心子ども基金を経由しての臨時的施策ではありますが、二十五年度

実施のみでなく、二十七年度以降の新制度での抜本的な改革が行われるまでは継続されるよう強く望んでいるところです。

なお、一層の処遇改善に関する抜本改革がどうなされるかは、まさに今年度から開催される国の「子ども・子育て会議」の場で検討されることとなっており、こちらにも注視が必要となります。

保育をめぐる状況が大きく動いている

今回の処遇改善策については、待機児童対策を進める上で障害となる保育士不足への危機感からの支出という面があります。方便で組み立てている面もあるかもしれませんが、単に保育士不足に対応した処遇改善という文脈だけでは将来、限界が生じるでしょう。

というのは、確かに保育に関する問題として、首都圏等都市部を中心とした待機児童に関する報道には心痛むものがありますが、しかし、全国にある約千七百の市町村のうち、五十名以上の待機児童がいる市町村は六%の百七市町

村にすぎないからです。逆に四十五%の七百七十五市町村においては、既に過疎の状態です。

徳島県においては、過疎市町村の割合が五割を超え、面積比では七割を超えています。

従って、待機児童対策・保育士不足というだけでなく、保育の質向上とそのため優秀な人材確保と育成という、どの地域においても必要で本質的な文脈での議論をもっと重ねていくことが大切です。

さて、昨年八月に自公民三党合意を踏まえて成立した、子ども子育て関連三法については二十七年の本格実施までに至る作業スケジュール表も公開され、肅々と進むことが予定されています。全体はまた別の機会にご覧いただくとして、目前の動きを追いますと、市町村が子ども・子育て家庭の状況と需要をしっかりとつかむことがまず必要とされています。このニーズの調査票などについては、今春にも子ども・子育て会議が案を出し、これを参照しつつ市町村が調査方法の詳細を検討し、その結果を受けて夏から秋に

かけて具体的な必要見込量が出される計画です。

全国一体となつての運動も重要ですが、それぞれの市町村でのニーズ調査が決定的に重要であることも意識していただければと思います。

また、他にも多くの動きがあり、例えば三歳以上児の幼児教育の無償化というテーマも急浮上しています。財源がどこから来るのか、結果として〇歳〜就学までの切れ目のない（言うまでもなく教育を含んだ）保育の質に対する影響がどうなるのか、注目していかねばなりません。

毎年訪れる春ではありますが、保育をめぐる制度、予算などに目を向けると動きはまさに急であり、歴史的な変化が進行しようとしている点につき書かせていただきました。

最後に、私事ではありますが、おかげさまで二年間の会長任期が終了しましたことをご報告させていただきます。会の運営に対しご協力いただき、ありがとうございます。これからも会がますます発展し、皆様がご活躍される場が広がりますよう祈念しています。

部会報告

総務部

松下 直弘

総務部会後期の報告をいたします。昨年九月・十二月と第三回・第四回総務部会を開催しました。また、十月宮崎県にて全国事業部長会議に出席いたしました。この原稿を入力していると「事務局問題」が上がつてきました。「県社協が事務局から手を引く」らしいとのこと。この話があったのが平成二十四年十二月とのことです。それ以前のことになります。それを本日現在放置しているというのです。こんなことが続いているのでしょうか？私見になりますが、普通であれば理事会を開き話し合い、緊急臨時総会へと進むのが妥当かと思いますが、未だ開かれていません。別に批判でもありませんが「我々の会費は元とはいえ住民の血税であり、保険料収入は保護者のお金」なのです。そう考えるから総務部は時代に合った会運営とな

るべく話し合っています。他県で私立保育園連盟の公金流用もありました。「なぜ社協に委託しているのか？」この意味を考える必要があると思います。それにもかかわらず理事会すら開催されていない状況は異常とは思えません。このままでは予算すら立案できないのですから……。もう一言つけ加えれば新制度移行のなかで団体の役割・見直し・再編を見据えていないと単なる「仲良しクラブ」になってしまいます。我々は福祉事業を数十年携わり、自己評価まで記載されている保育所保育指針の現場を預かる管理運営者の団体です。決して「馴れ合い」の集団ではありません。少し辛口の文章になってしましますが、事務局問題に対しては対岸の火事としてとらえてほしくはないのです。総務部会の報告とはかけ離れているように見えますが、いろんな場面を想定し規約の改正なども進めております。皆様熱き魂で議論する総務部の窓をそつと開けてみてください。きつと「知恵の輪のカギ」を提供できるメンバーがあなたの方を見えていますよ。次年度もよ

調査部

長澤 紀子

平成二十五年二月五日ふれあい健康館において講師に、松居和氏をお迎えして「日本の未来を考えた子育て支援を考える」をテーマとして講演会を開催しました。

松居氏は、元埼玉県の教育委員で海外で長く生活をしていました。また、尺八奏者として数々のアメリカ映画に参加された音楽家でもあります。

米国の家庭の様々な現状、日本と欧米の違い、義務教育の問題、保育園との関係、父親の役割・母親の役割、受験戦争が家庭の絆を強めるなどの内容を、笑いあり、涙あり



講師 松居 和さん

ろしくお願いいたします。
(のぞみ保育園)

でお話して下さいました。

松居氏の話は、子どもたちを囲む様々な問題の根底に、社会に「親心」が育たなくなってきたことがある。親が子どもたちと過ごす時間が、不自然に減って子育てに無関心だったり、自信を持てずに迷い依存する親が増えている。保・幼・小が親心の喪失にどれだけ手をかしてしまっただか。子育ては、子どもを育てる以上に親たちが育つていく。というような内容でした。

この話を聞き、親のためと思ってしてきたことが、はたして良かったのかと考えさせられて「子育て」を親たちに返していくか、またどうやって「親育て」をしていくかが私たちに与えられた大きな課題と感じました。

松居氏のテンポの良さであつという間の二時間半の研修会でした。

県子ども未来課から、喜馬課長補佐様にはお忙しい中ご参加頂きありがとうございます。各園の皆様には調査部講演会にご協力いただきましてありがとうございます。

(さくら保育園)

保育研修部

佐野 篤子

保育研修部では、一月十七日徳島市ふれあい健康館を会



場に研修会が行われました。

研修会の内容は、昨年、一昨年に続いて「保育の質をたかめる」といったテーマで、鯨岡先生を講師に招聘して研修をしました。

保育研修部では、県下の私立保育園の保育の質の向上を目指し、全体に呼びかけた研修をしてまいりました。それが今年度は、中国・四国ブロックの研修と兼ねた研修会とするような話があり、研修部会を開いて協議しました。

そこで、「昨年・一昨年に続いた(積み重ねた)研修ができるか不安である。」という意見がでました。それで、「保育研修部独自の研修」を実施することとなりました。研修会当日は、多数の保育士の参加者があり、研修部の企画していた内容での研修をすることができました。

ここで、鯨岡先生の講演内容を少し紹介いたします。

「なぜ子どもの心の育ちをエピソード記述にかく必要があるのでしょうか。」

- ① なぜ今心の育ちを問題にする必要があるのか。
- ② 目に見えない心をどのようにして取り上げるこ

とができるのか。

- ③ なぜ保育者は子どもの心の育ちをエピソードにかく必要があるのか。

といった三つの問いに答える試みから話されました。①は、二つの保育の見方があって、その一つは、「力」をつけることが先という見方で、もうひとつは、「心」が先という見方です。力をつけることが先決と考える保育のありかたは、集団保育に視点を置いて、「できる。できない。」で、子どもを評価していく保育です。保育者から見て大丈夫と見えている子どもの中にも、心に不安や葛藤を抱いて入る子ども多数います。子どもは保育者と過ごす中で、自分の思いを保育者に受け止めてもらって安心することができ、保育者を好きになります。自分の存在を保育者に認めて貰うことが自己肯定感につながり、心の育ちの原点となります。②の問いは、「接面」がキーワードです。人が人と関わる仕事をしている人は、接面を持っています。保育者は、接面でそこで捕らえられる目に見えない心の動きも含めて子どもをみるこ

とができます。子どもの心の育ちを重視する保育は、まず子どもとの間に接面をつくること、そのためには、保育者の心を子どもに寄り添わせることが肝心です。③の問いについては、目に見えない子どもの心の動きを感じ取った保育者が、その体験をエピソードに綴ること、接面に関わっていない保育者も理解して議論をし、子どもの心の動きに迫る記録を残し、それに基づいて保育のあるべきかたちを吟味していくためです。また、「エピソードの記述の主旨(自分の心が揺さぶられた体験を描くのだという主旨)」をしつかり理解してから描いてみると、描くことで自分がこういう保育をしていたのだというところが、改めて自分に見えてきて驚いたり、子どもの育ちに自分の保育がこんなに責任があるのだと気づけて良かった。」等と、保育者が保育に前向きな姿勢を示し意欲的になりましたと話されました。

午後からは、グループに分かれエピソード例をもとに話し合いを行いました。最後に、鯨岡先生から、「いろいろ

るな角度からの保育の分析ができています。保育を見る目が育ってきているのでしょう。来年は、徳島のエピソード例を出してもらって、それに基づいて研修をしたいと思っています。」と、言われました。このことは、徳島県私立保育園の保育の質の向上につながっている事が立証されたことであり、研修部員一同大変うれしく思いました。このことから研修は、一つのテーマの積み重ねや、深く掘り下げることにより成果が現れてきていることと思います。

これからも、各園の協力をお願いして、保育の質を向上させるための研修を重ねていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

(あけぼの保育園)

広報部

谷口 恵美

平成二十四年度、広報部の活動を報告させていただきました。広報部会は、平成二十四年五月十七日／十八日の部会別協議会にて、今年度の事業計画を立てました。

第二回の部会では、平成二十四年六月二十一日、パークウエストンにおきまして、主に、広報誌『私保連とくしま』の発行と『県私保連カレンダー』の制作について打ち合わせを行いました。また、県私立保育園連盟のホームページの運用について意見が出され、ホームページの見直しについて、案を持ち寄り話し合いを行いました。ホームページの活用として、各ブロックの紹介や求人募集を行ったり私保連の活動を紹介するなど、どのような人に見てもらい、どのように情報を発信していくかを話し合いました。

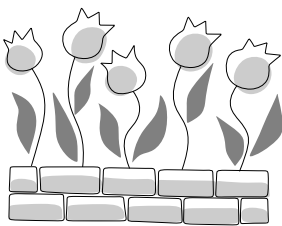
また、平成二十四年九月三日に、『那賀川ひまわり保育園』を見学させて頂きました。園長である横手恵子先生が、貴園の取り組みや貴園が発足に至るまでの経緯などの説明を聞き、参加者間での情報交換を行いました。那賀川ひまわり保育園は木の香りがする、ゆったりとした園舎と広々とした園庭で、『子どもたちがそれぞれに「人間らしく」豊かに成長してほしい』という職員の願いが伝わってくる環境づくりが行われてい

ました。この後も、ホームページの見直しについて検討を行い、今後の運用、運営について、話し合いを持ちました。

また、例年、制作しているカレンダーでは、徳島市、さらには保育園の塩濱保育士がイラストを担当してくださり、作成しました。カレンダーの使用手法として、保護者への配布だけでなく行政機関等への保育活動の発信としても使用していただけるように呼びかけていくことも必要であるという意見がありました。

平成二十四年度の新しい取り組みとしてホームページの見直しと運用について検討を重ねてきましたが、まだ課題も残されているので、次年度も、広報部会では、ホームページの運営と運用を検討していくことにしています。

(彩保育園)



プロック
だより

鳴門ブロック

牧野 展子

鳴門市私立保育園では、近年世界的に地震が多発し、鳴門市でも心配される南海トラフ大地震の対策として、耐震工事や避難タワーの建設及び全面改築工事を順次進めて、子どもの安全を確保するよう努力を重ねています。

また、鳴門市の保育園の現状として、小学校に幼稚園が併設され、四歳児になるとほとんどの幼児が幼稚園に入園という慣習が続いています。これは、全国的にめずらしいことで、六歳までの成長を見ることができない矛盾を抱えたまま、公私の保育所(園)が協力して、鳴門市の子どもたちの成長を守っていることを自負しています。



しかし、鳴門市も少子化の波が押し寄せ一部地区で公立幼稚園の三歳児入園が一方的に始まりました。私

保連として、教育委員会に異議を唱え、昭和の初期から地域に貢献し、乳幼児の発達を的確に理解した保育を行ってきた保育園の役割を説明したのですが、理解を得ることはできませんでした。更に、事業所内保育所の設置が進み、保育料の安価さ等から新入児数の減少も表れ始めていることに危惧を感じています。



このような、苦しい現状を抱えながら、地域の子どもと保護者に高度な専門性を持った保育を提供できる私立保育園として協力しあって頑張りたいと思います。

平成二十五年度の定期総会は鳴門です。鳴門海峡の眺望と渦潮に揉まれこぶのできた鳴門真鯛に出会えることを願ってお待ちしています。

(板東ゆたか保育園)

私立保育園連盟 青年会議

県私立保育園連盟青年会議

会長 阿部 浩紀

今年度の青年会議は、地域の諸機関との連携を深めることを重点に置き事業を行いました。まず一つ目は、気になる子どもや保護者への対応で、日頃からお世話になっている徳島市の保健センターの母子保健担当係長濱田悦子氏に講演をして頂きました。講演の中で、保健センターをもっと活用して欲しいとの話があり、今後保育園から積極的に関わりを持っていく必要性を感じました。二つ目は、近年の慢性的な保育士不足の対応として、四国大学の保育士養成の関係者と懇談会を行いました。懇談会では、互いの認識にズレがあることが分かり、それについて埋め合わせができたことで、有意義であったと思います。三つ目は、子ども子育て関連3法の法案が通り、今後幼保連携型認定こども園に移行が進むと考えられることから、徳島県で初めての幼保連携型認定こども園である美馬市立江原認定こども園を見学させて頂きました。木造平屋建ての素晴らしく立派な施設で、新設する上でのこだわりや幼保連携型のメリット・デメリットを聞かせて頂き、非常に参考になりました。来年度も研鑽を深め、よりよい保育に役立てたいと思います。



男性保育士！じゅずつなぎ

松嶋 雄司

子どもの未来を支える仕事
がしたいと保育の世界に飛び
込んで十七年、あけぼの保育
園に来て十年目が終わろうと
しています。

三、四、五歳児の担当が主
でしたが、二年前から二歳児
を担当させていただくように
なり、日々奮闘しています。

二歳児は身の回りのことがま
だ十分できなくて、おしめ
だった子がトイレに行けるよ
うになったり、ご飯をこぼさ
ず食べられるようになったり、
一日一日の成長がとても
大きいことがわかりました。
初めは自分から動かずに声を
かけてしまうことが多く、子
どもの思いを十分わかってあ
げる事ができていませんでし
た。それで、子どもの視線
に立つ、ということをもう一
度考え、どんな時も子どもの
目線で、目を見ながら話をす
るようにしました。すると、
子どもがどんなことを思っ
ているのかが、少しずつです
がわかってきました。うまく
できないこともそばで見守り

がら一緒に手伝っていると、
自分でやってみようという子
どもの気持ち伝わってきた
て、子どもの思いを共有でき
るようになってきました。子
どもたちと生活していると、
毎日喜びと反省の繰り返しで
すが、子どもの喜びや悲しみ
をすべて受け止めていける保
育士でありたいと思います。

男性保育士として何ができ
るかと考えてきましたが、ま
だ答えはでていません。でも
保育園で子どもたちに必要
なのはお母さんでもありお父
さんでもあるので、子ども一
ひとりに愛情を持って接し、
子どもたちから信頼されるこ
とが一番大事なことでと思い
ます。これからも子どもたち
一人ひとりと向き合いなが
ら、他の保育士と一緒にあけ
ぼの保育園を盛り上げたいで
す。
(あけぼの保育園)



活躍!

主任保育士さん

谷口 淑子



広い園庭は私たちの「宝物」

私が勤務する四国大学附属西富田保育所は眉山の麓の大自然の中、定員百十名の二歳から五歳までの子どもが伸び伸びと活動できる広々とした園庭にめぐまれています。園庭では、運動会等の各行事が行われる他、夏には、泥んこやプール遊び、冬は凧揚げやマラソン、その他、サッカーや鬼ごっこ等、一年中子どもたちの生き生きとした姿が見られます。全クラスで一斉に遊べるので、異年齢で微笑ましいかわりも見られます。鉄棒の前で年長組の子どもが

逆上がりをしているのを羨ましそうに見ている年下の子に「鉄棒をしっかりと握って足を空に向けて蹴るんだよ。その時鉄棒をおなかくつつけるんだよ。」と言って手伝ってあげたりする姿に、保育士も感心させられています。また、いろいろな場面で小さい



逆上がりどうやってするの?



グリンピースの収穫です。

子を助けてあげたり、年上の子のすることに憧れたり良い刺激になっていきます。鬼ごっこやドッジボール等制限時間を気にせず十分遊び込む事が出来て子どもたちも満足そうで



交通安全教室で、年長さんに教えてもらったよ。



「誰か手伝って」「もっとからだをまっすぐにしてみ」



ロープを使うともっと上まで登れるよ。

す。遊びの他、プランターでの野菜作りを通しての食育活動や園庭横のせせらぎのザリガニ釣り等貴重な体験をしています。四季折々の自然の中で五感を十分に使う存分遊び、その中で友だちとのケンカや仲直り、葛藤や競争、協力等の体験を重ね、その中で、相手を想い感情表現できるような成長してもらいたいと願っています。「手をつなごう」の当保育所の保育理念に基づき、職員一同一丸となって子どもたちの成長を見守っていききたいと思っています。(四国大学附属西富田保育所)



まちにまった運動会!!

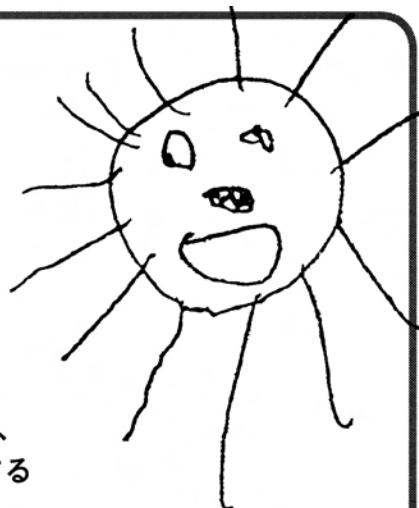


「ザリガニがつれたよ」



たくさんザリガニがいるよ。

保育園および園児を さまざまなリスクから サポートします



保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。

(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。

全私保連 保険制度

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害保険」
「特別保育事業賠償責任保険」など、
保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップ
しています。また、それらを総合的に補償する
セットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

保育園児を24時間補償する共済制度です。
保育者にとっては
一般に比べて割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉

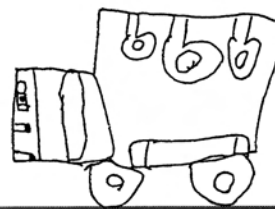
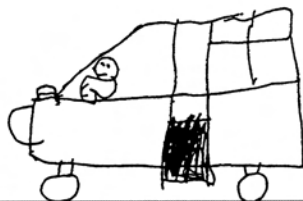
(幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

担当課：公務第二部 公務第一課

TEL：03-3515-4133

(共同引受保険会社) 三井住友海上火災保険株式会社

このご案内は全私保連保険制度・園児総合保障共済制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がございましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



子育て真っ最中！ ママ職員 紙上美奈子

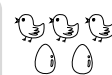
産後の休暇から職場復帰し五ヶ月が過ぎようとしています。

私には三人の子ども（八歳の息子、三歳、十一ヶ月の二人の娘）がいます。毎日慌しく叱ってはいけないと思いつつ「早くしなさい。」と口出ししてしまい、夜子ども達の寝顔を見ては「こんなにかわいいのにまた叱ってしまった。」と反省する毎日です。

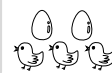
毎日、娘の保育園送迎時の車中での長女との言葉のやり取りが私は大好きです。毎朝長女が「ママお仕事頑張ってるけん。」夕方は「ママお仕事頑張った？」「心春ちゃん嫌な野菜頑張って食べたよ。」などごく普通の会話ですが朝は一日仕事頑張ろうという気持ちになり、夕方は家に帰り三人のママ頑張ろうという気持ちになります。

仕事で疲れて家事や育児が面倒だと感じてしまう時もあります。かわい三人の子ども達の「ママの笑顔は子どもの元気の源」「保育士の笑顔は園児の元気の源」を motto にこれからも家庭と仕事を両立できるように日々頑張りたいです。

(沖浜シーズ保育園)



いきいき保育士さん



「県私保連二〇一三年カレンダー」に素敵なイラストを提供してくださった方をご紹介します。

塩濱 晋矢

今回、私保連のカレンダーのイラストを描くにあたり、「笑顔」をテーマに描く」ということだったので、子どもたちはどんなときに笑顔になるのか、どのように笑うのか等様々なことを考えて悩んでしまい、なかなかイラストのイメージすら湧いてきませんでした。その答えを教えてくれたのはやはり子どもたちでした。子どもたちは遊んでいるときに笑います。ご飯を食べているときも、お着替えの途中でも、友だちとさ

よならのときもニコニコです。いやなことがあって泣いている子もしばらくすると笑っています。笑顔は子どもたちの生活の中に溢れている。そう考え子どもたちの一年間の生活を詰め込んでイラストにしました。子どもたちの笑顔は、それを見ている周りの大人たちをも笑顔にする力を持っています。このカレンダーにもそんな力があればと思いつながら、また、子どもたちの笑顔を絶やさないとこの重大さを深く感じています。

(さくら保育園)



すべては、子どもたちのために。

株式会社ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp

TEL 088-626-2110

FAX 088-626-2416

ワンダーブックの保育用品

世界文化社販売株式会社

〒770-0802

徳島市吉野本町3丁目16番地2

TEL(088)653-7607

FAX(088)653-7874



梨狩り「はやくたべたい」

「いただきます」を支えて！

今日も、子どもたちの元気いっぱいな食事の挨拶が、ランチルームに響きわたります。

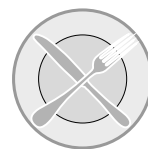
ランチルームは子どもの喫食状況等の把握のみならず、食育活動を展開させるにあたり、職員間の連携には欠かせない場所になっています。

鳴門特産の農産物を身近に感じる環境で過ごす子どもたちに、食材の変化に気づいてもらおうと、加工・乾物づくりの取り組みをはじめていきます。地域の方の協力で、梨狩りでは素材の味覚やジャム作りで、味わいの違いを感じま



「いただきます」を支えて！

伊吹奈緒美



クッキング「わたしもできるかなあ」

した。切り干し大根づくりでは、色や形、においなど乾燥の過程で変化していく様子に、「ラーメンみたい。」や「かそそうわかめみたい。」など、自分の知っている食材と照らし合わせる姿がありました。

また、手作り食育媒体を通して食材に親しみを持ってもらえるよう、絵本や紙しばい、カルタの製作を行っています。

今後、衛生面に十分配慮し、試行錯誤を楽しみながら「食」の体験を増やしていきたいと思っています。

(矢倉保育園)

カルタとり
「いまからよむよー」

カルタとり「つぎはなあに」



切り干し大根づくり「じょうずにきれたよ」

切り干し大根づくり
「だいこんカラカラになろう」

子どもにやさしい地球を残そう

ひかりのくに徳島有限会社

〒779-3404 徳島県吉野川市山川町川田869-4
TEL 0883(42)2220
FAX 0883(42)6300
〒770-0035 徳島市南佐古5番町2-37
TEL 088(652)0350
FAX 088(655)9066



幼児の豊かな生活環境をめざす

徳島チャイルド社

電話 088-674-6050
FAX 088-674-8336
〒779-3234 名西郡石井町石井字白鳥230



めばえ保育園は、徳島市と鳴門市の間に位置し、少しですが人口増加の市町村にあります。

平成二年から設立し、平成十三年に社会福祉法人で定員六十名の認可保育園になり、現在は、待機児童解消のため増築し、定員九十名になりました。めばえ保育園の保育目標の一つであり子どもに一番必要な力として「人の話が聴ける子ども」に育つことをあげています。それには、大人

あわあ保育園めぐり

めばえ保育園 (板野郡北島町)

山田さちよ

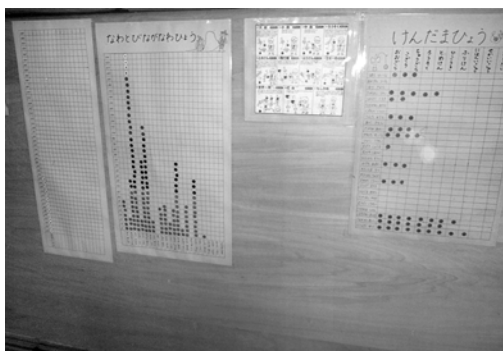


との安定した関係を築くために遊びや生活の中に遠野のわらべ唄を使っています。一対一で向き合い、初めは大人の目をとらえることが難しくても、繰り返しすることで目が合うようになり、声を聴いて、考えて、笑顔で感情を出し動作をまねるようになります。「てんこ てんこ てんこ」大人の顔の横で右手を握



考え出来栄えを競い合っているときは「ラキュー博士だね。」と声

り、クルクルと回します。少しずつ子どもの指が動き出し真似ようとする姿が見えると「上手」と認め褒めます。乳児期から人と向き合うことが前向きな気持ちを育てることが大切です。社会に自分から関わろうとする、頑張ろうとする子どもの気持ちが育つことで人の話も自分から聴こうとする姿勢ができると思っています。幼児期になると、頑張ろうとする気持ちは友だちの中で「けん玉」の技に挑戦したり、縄跳びの回数を競ったりして育っています。大人は、表を作り目標が持てるようにして「もっとしたい。」という気持ちを育てます。おもちゃで何か作り、友だちよりかっこいいものを作ろうと



をかけ自信に繋げ前向きな気持ち育てています。

保育は、一人ひとり大人の姿が同じ方向に向くことが大切です。個性や特性を生かしながら助け合える職員関係を築き温かな保育園をめざしています。



Gakken 学研

(株)学研エリアマーケット 徳島営業所

☎779-3122 徳島市国府町府中629-1

Tel : 088-643-0760

Fax : 088-643-0762



△フーベル館

子どもたちに生きよう、



徳島支店

〒770-8007 徳島市新浜本町2-3-50

坂東新浜ビル3号室

TEL 088-663-6338 FAX 088-663-3396

携帯 090-4338-9940

(一面から続く)

☆心やさしい

子どもたち☆

西岡 計子

園庭の桜のつぼみもふくらみ、子どもの成長と別れをしみじみと感じるこの頃、保育の修了、卒園を迎えた園児の表情は明るく、成長の喜びと自信と希望に輝いています。

在園児三十五名、小規模ならではの家庭的な雰囲気の中で、子どもたちは、互いに刺激し合いながら、日々成長しています。

県南のベッドタウンと呼ばれる、コスモスの町、羽ノ浦町、四季折々の美しい自然豊かな環境に恵まれた中で、あざみ保育園は、地域の人々に愛されて育ち、創立三十才を迎えました。

「三つ子の魂百まで」、〇才から三才までの基本的生活習慣の育つ大切な時期の子どもを保育する当園としては、責任重大であり、目標として、「思いやり」「感動する心」を大切に育てています。

いつでもどこでも、「ありがとう」が言える子ども達。食事の前に、いつも「〇〇さ

ん、命ありがとう、いただきます」と、あいさつしています。

大好きな童謡詩人、金子みすずさんのように、自然現象や、動物、他人を思い遣る優しい心は、乳幼児から育てていきたい。子ども達の未来が、平和で明るい、住みよい世界であることを祈って…。

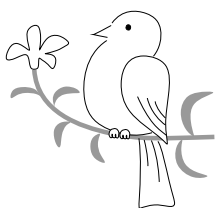
「お魚」
海の魚はかわいそう。

お米は人につくられる、牛は牧場で飼われてる、鯉もお池で魅を貰う。

けれども海のお魚はなんにも世話にならないしいたずら一つしないのにこうして私に食べられる。

ほんとに魚はかわいそう。

金子みすず詩集より
(あざみ保育園)



―編集後記―

弥生三月、梅や桃の花もほころび新しい春の訪れが感じられるようになりました。

保育園では、一年間の保育のまとめや卒園、入園の準備に大変お忙しいことと思います。また、この時期、職員の退職等もあり、保育士不足の折、大変ご苦労されている園も多いかと思っています。

先日、新聞紙面に本市の次年度予算の主な事業として、保育士不足の改善のため、保育士処遇改善事業が予算化されていました。

成果のほどはこれからですが、子ども達のすこやかな育ちを守り、保護者の就労を支援できるよう改善の策を、今後も期待したいところです。

さて、今回も各部会の活動報告をはじめ施設の紹介や特色ある保育の取り組み、園で活躍される職員の方々の投稿等を掲載させて頂きました。

これからも、できるだけ多くの会員の皆様の投稿を掲載していきたいと考えています。依頼させていただいた折には、どうかご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

また、新しい企画や楽しいニュースなどございましたら広報部までお知らせください。

(田崎)